

福祉サービス第三評価結果の公表ガイドライン

① 第三者評価機関名

NP0 法人未来
鳥取県倉吉市東仲町2571番地

② 施設・事業所情報

名称：皆生クローバー保育園	種別：小規模保育所
代表者氏名：山城 直	定員（利用人数）：19名（11名）
所在地：鳥取県米子市皆生温泉2丁目14-13	
TEL：0859-57-6496	ホームページ： http://clover-hoikuen.jp
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2017年4月28日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 クローバーホールディングス	
職員数	常勤職員：5名 非常勤職員：3名
専門職員	（専門職の名称）保育士 5名 保育士 1名
	調理員 1名
	支援員 1名
施設・設備 の概要	（居室数）2部屋 （設備等）空調・床暖房
	乳児・ほふく室 保育室 沐浴室 授乳室 調理室 トイレ 道具庫

③ 理念・基本方針

○のびのびと生活する中で好きなことをもっと好きに ○自分らしさを大切に
・四季を感じながら色々な体験をします・個性を大切にします・色々な人とかかわる
中で心の育ちを大切にします

④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ・子ども主体の保育計画を実施する
- ・子どもたちひとりひとりの「すき」を見つけて伸ばす保育
- ・肯定的な言葉かけの実践
- ・働きやすい環境づくり

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成30年9月3日（契約日）～ 平成31年3月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（平成 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 一般的な保育園に比べ園外に出かけることが多く、海や公園などで自然を満喫したり、足湯につかるなど、園内ではできないことを体験している。
2. 隣接している皆生第二クローバー保育園とは園内でつながっているため、雨天でも走り回ることのできるプレイルーム等を容易に借りることができ、2園合同での行事開催もしている。
3. トイレ内の利用者ごとのオムツ入れや、服の汚れ防止等のためのスモックを職員がオリジナルで作成するなど、子どもが心地よく過ごせるサービスを提供している。
4. 避難訓練を様々な想定で毎月開催しており、非常時でも迅速な対応ができるよう役割を習得している。
5. 昼寝中の事故防止のための5分おきの安否確認記録や、毎日の保育記録を徹底しており、職員間での情報共有や計画の見直し、サービス改善に役立っている。
6. 子どもの欲求を制止するのではなく、子どもの今を受け止めつつも、その良し悪しを学びから習得できるような、職員主体ではない保育を実践している。
7. 職員が理念をしっかりと理解しており、小規模保育園の家庭的な雰囲気の中、子ども達とゆったりとかかわることができている。
8. 給食は本社の栄養士が作成した献立を自園調理している。アレルギー除去食となっているので、アレルギーのある子どもでも安心して皆と同じ食事ができる。

◇改善を求められる点

1. 人材育成について、職員個々の段階に応じた目標管理・研修制度、人事考課の仕組みづくりが望まれる。
2. 系列の保育園は県内では現在10園であり、本部が運営や経営を統括している。職員の人材確保や保育人数に流動的な側面があるが、本部だけでなく、それぞれの園においても3年～5年先の将来ビジョンを見据えた単年度計画を策定することで、さらに具体的な計画になることを期待する。
3. 年1回保育実践についての職員の自己評価及び個人面談を実施し、人事考課を行なっているが、評価見直しが十分とは言えない。職員の自己評価結果を十分活かせるように期待する。
4. 本部の教育責任者が年間研修計画を管理している。保育園の目的を明確にし、体系化された計画になるような研修内容を計画的に盛り込み、機会あるごとに園内研修として還元してほしい。
5. 地域への発信として、ホームページ、フェイスブックで組織や理念、保育方針や内容を公開しているが、運営の透明性を図るためにも事業計画・事業報告・財務報告等、情報の公開を期待する。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

--

福祉サービス第三者評価報告書

※すべての評価細目（45項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・b・c
<コメント> ・職員一人ひとりが理念、方針に基づき子どもたちがのびのびと生活でき個性を伸ばせるよう取り組んでいる。また、保護者の方が安心して利用できるよう日々努力している。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・b・c
<コメント> ・3年間という短期間に10園以上開設し、幅広く保育事業を展開し、地域の保育ニーズに貢献している。今後さらに具体的な福祉計画や保育のニーズを把握し、行政等関係機関や、他社との情報交換に努め、経営の安定に努めてほしい。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・b・c
<コメント> ・系列の保育園は現在、県内で10園あり、本部が運営や経営を統括している。経営課題は①人材確保及び育成②財務管理の二点をあげ、職員による保育士等紹介制度の導入や保育士フェア等への積極参加、キャッシュフロー表の作成及び評価等を実施している。しかしながら、保育園個々に対する経営課題は十分とは言えない。さらに経営課題の把握に努めてほしい。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・c
<コメント> ・本部として、“人を大切に”会社でありたいというビジョンがある。残業ゼロ、有給休暇取得100%等を目指し、変形労働時間制の導入など多様な働き方への理解を通じて従業員満足度の向上、地域の雇用拡大に貢献できるように長期的な計画を策定		

中である。現場としては、園独自での中・長期的な計画は周知されていない。		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント>・主に法人全体の3年収支予算計画、単年度及び中期的な収支計画、園児受け入れ計画等を作成している。しかし、人材確保に流動的な側面があることから不定期に見直しを実施している。それぞれの園においても3年～5年先の将来ビジョンを見据えた単年度計画を策定することで、さらに具体的な計画になることを期待する。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント>・本部においては保育事業運営における経理事務はデジタル化が進み、正確な事務作業システムを導入している。今後は事業計画改善のための仕組みを構築し、職員と共有化を図れるよう整備してほしい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント>・本部が主に事業計画を策定している。園として、事業内容についての職員の理解促進に努め、保護者の周知理解促進に努めてほしい。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント>・今回の第三者評価が初めての受審であり、これを機会に改善に努める。また、年1回保育実践についての自己評価を実施し、職員個人面談を受けている。今後は組織的に評価を行う体制の整備を期待する。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント>・職員の自己評価結果や今回の評価結果により課題を明確にし、それを職員全体で共有し、組織的・総合的に取り組んでほしい。</p>		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p><コメント>・法人本部の組織及び役割と責任は明確になっている。園長は園だよりや職員ミーティング等で理念や方針を伝え、課題については職員の協力を得ながら取り組んで</p>		

いる。有事の際や不在時など役割と責任について組織としてさらに明確な態度表明を期待する。		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・⑥・c
<p><コメント>・グループの園長会で管理者の心得や園内研修、保育の見直しなど検討し取り組んでいるが、十分とはいえない。職員に対して社会的ルールや倫理を含め法令遵守の体制づくり、教育・研修などの取り組みを期待する。</p> <p>II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。</p>		
12	II-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・⑥・c
<p><コメント>・アンケート結果を周知し、改善に向けて話し合い、安心して子どもを預けられる保育園になるよう指導している。保育計画の評価反省を把握し実際の保育と照らし合わせよりよくなるよう助言している。さらに、指導を望む。</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・⑥・c
<p><コメント>・年2回、意向調査を行い個人面談により聞き取り、職員の働きやすい環境整備等に取り組んでいる。事務及び記録を電子化するなど、効果的な業務の実現を目指している。</p>		

II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・⑥・c
<p><コメント>・人事については、本社が行っている。園独自でも必要な福祉人材についての把握をし、質の高い保育になるよう本社との連携を図れるよう期待する。</p>		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	A・⑥・c
<p><コメント>・人事管理は本社が行っている。本社としての人事管理基準が定められ、職員への周知が図られる必要がある。園独自でも必要な福祉人材について把握し、職員個々の聞き取りを行い、職員が自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりを期待する。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a・⑥・c
<p><コメント>・労務管理は基本的に本社で集約している。シフトの作成、出勤簿、休暇届等の管理は園で管理している。2時間から8時間勤務と幅をもったシフトがあり、休憩時間取得と残業ゼロは通常になっている。人材確保定着の観点からさらに働きやすい職場環境になるよう、相談しやすい工夫を望む。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		

17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント>・年2回個人面談を実施している。園の理念・基本方針に基づいて個々の年間目標計画を立てるなど、職員一人ひとりの質の向上に向けた支援ができる仕組みの工夫を望む。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・b・c
<p><コメント>・本部の教育責任者が年間研修計画を管理している。毎月の職員ミーティングでも各種研修を行っているが、内容の記録がない。定期的に研修内容の評価と見直しを行い、適切に実施されることを望む。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・b・c
<p><コメント>・本部が計画を立て、職員の専門資格や技術の向上につながるよう、スキルアップ研修、キャリアアップ研修に参加を促している。出来るだけ多くの職員への研修参加を奨励し、職員間で学びあう機会と体制づくりを期待する。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・c
<p><コメント>・実習生の受け入れについては、取り組んでいない。今後は受け入れマニュアルを整備し、指導者に対する研修を実施するなど、積極的な取り組みを期待する。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・b・c
<p><コメント>・保護者に対しては園のしおり、重要事項説明書で理念・基本方針、保育内容公開している。その他ホームページ、フェイスブックで事業概要、保育内容等公開しているが、運営の透明性を図るためにも事業計画・事業報告予算決算情報の公開を期待する。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・b・c
<p><コメント>・年1回の県の監査、案内に応じて県、市の訪問実施による公開保育、学習会に参加している。今後、事務・経理・取引などに関する内部監査の実施、また、必要に応じて外部監査を行うことが望ましい。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行って	a・b・c

	いる。	
	<p><コメント>・交番や観光センター、老人介護施設等が近くにあり、散歩の際に立ち寄るなど、交流している。保護者に、活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示したりチラシを渡したりして情報を提供している。</p>	
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	a・b・c
	<p><コメント>・幼児教育科の学生より依頼があり受けたことはあるが、特に具体的な計画は立てていない。受け入れにあたってのマニュアルの整備を望む。</p>	
	Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	
25	Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・b・c
	<p><コメント>・市の園長会、医師会との検討会に出席し、情報を共有しているが十分とはいえない。必要に応じ、地域の保育園・福祉事務所・児童相談所・ボランティア団体などの地域の様々な機関との連携も考慮してみてもどうか。</p>	
	Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
26	Ⅱ-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a・b・c
	<p><コメント>・園が有する機能を地域に開放・提供する取り組みを行っていない。</p>	
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・c
	<p><コメント>・地域の具体的な福祉ニーズを把握するための取り組みを行っていない。</p>	

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価
	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・b・c
	<p><コメント>・『自分らしさを大切に』という理念を掲げており、先生主体ではなく、利用者である子どもを中心とした関わり方をするよう、入社時から職員に説明しており、職員一人ひとりもそれを意識した接し方を実践している。</p>	
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a・b・c
	<p><コメント>・虐待に関するマニュアルを整備しており、子どもの心身にわずかな異変があった時には、権利擁護の観点からの検討もなされている。</p>	
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	

30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・b・c
<p><コメント>・入園のしおりや、ホームページ、フェイスブックなどで挿絵や写真を用いて園の情報をわかりやすく提供している。見学は随時受付で、個別に丁寧な説明をしている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a・b・c
<p><コメント>・サービス開始にあたっては面談し重要事項説明書や表を用いてわかりやすく説明し同意を得ている。サービス内容の変更がある場合は、個別に説明し同意を得るようにしている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
<p><コメント>・転園・卒園などによる移行の際は、スムーズに福祉サービスの継続ができるよう、必要に応じ保護者の了解を得て移行先に情報提供を行っている。卒園後も行事案内をするなど、関係性を保つ取組をしている。</p>		
<p>Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。</p>		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント>・アンケートの実施や意見箱の設置など気軽に意見を聴ける環境づくりをしている。さらにアンケート結果を分析・検討した記録の作成や、利用者（家族）への公表など、利用者満足の上昇に向けた取組の構築を期待する。</p>		
<p>Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。</p>		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・b・c
<p><コメント>・意見箱を設置している。苦情があった場合の体制を整備している。利用者家族とのコミュニケーションを図り、苦情を未然に防げるよう取組んでいる。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・b・c
<p><コメント>・利用者家族との連絡帳でのやりとりや、送迎時の言葉かけなど日々のコミュニケーションを大切にしており、利用者家族からも「職員と話しやすい雰囲気づくりができている」という意見がある。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・b・c
<p><コメント>・担任が窓口になりいつでも相談や意見を受けられるようにし、その内容を職員間で共有している。</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・c
<p><コメント>・園長、主任はリスクマネジメント研修に参加し、責任をもって職員へ伝達</p>		

し、ヒヤリハット報告・事故報告を記録し、全体で共有している。週に一度施設点検を行っている。日常発生しやすい誤飲・誤嚥や窒息に関する注意喚起の掲示や、昼寝中の安否確認体制など、事故防止に取り組んでいる。		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	㉑・b・c
<p><コメント>・感染症予防のため手洗いうがいを習慣づけ、手拭きタオルの廃止、次亜塩素酸電解水による清掃・除菌を徹底している。床用・壁用など用途により色分けした布巾を常備しており、汚れに対し素早く対応している。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・㉒・c
<p><コメント>・園の消防計画があり対応体制が決められている。様々な災害・時間帯を想定した避難訓練を毎月実施しており、職員一人ひとりの役割の把握もできている。玄関に緊急時持ち出し用のバッグが常備しており、園外保育等の際に持ち出し機能性を保っている。さらに備蓄等の準備を望む。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a・㉓・c
<p><コメント>・理念をもとにした方針や目標を掲げており、職員には入社時や研修等で周知し、それに基づき日々のサービスを提供している。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・㉓・c
<p><コメント>・ミーティングでマニュアル研修を行ったり、月案・週案・経過記録などを共有し、実施方法の見直しをはかっている。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a・㉓・c
<p><コメント>・面談や日々のサービスから、利用者一人ひとりの指導計画を策定している。職員間で情報共有をし、個別対応が必要な場合は懇談等で保護者と話し合ったり、専門機関へ相談したりしている。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a・㉓・c
<p><コメント>・クラスごと・個人ごとの目標・領域別のポイント・実施記録・評価・反省等を定期的に記録する仕組みがあり、ミーティング等で、職員の意見も聞き、月間指導計画等の見直しをしている。個別の指導計画に沿って、実施された保育が子ども主導であるのかを話し合っている。</p>		

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a・b・c
<p><コメント>・家庭状況確認表を作成し、職員全体で把握している。個人ごとの目標・領域別のポイント・実施記録・評価・反省等を定期的に記録する仕組みがあり、内容を職員間で共有している。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a・b・c
<p><コメント>・個人情報に記載してある資料等は、鍵付きの書庫で管理している。利用者（家族）に対し個人情報取り扱いについての説明と同意を得ている。文書管理のルール化を望む。</p>		

福祉サービス第三者評価報告書 (内容評価基準—保育所版—)

皆生クローバー保育園

A-1 保育内容

評価項目	第三者評価結果	判断理由
A-1-(1) 保育課程の編成		
① A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・b・c	理念・方針・目標を基に全体的な計画を作成しているが日々の保育の実践に活かされていない。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
② A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・b・c	安全面に十分留意し環境を整備している。屋外の遊び場は狭いが、近くの公園などに出かけたり、併設された皆生第二クローバー保育園のプレイルームに行ったりと、心地よく過ごせるよう工夫している。
③ A-1-(2)-② 一人ひとりの子ども受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・b・c	一人ひとりの子どもの成長に応じた関わりをしながらのびのびと過ごさせている。
④ A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・b・c	1,2歳児は、ほとんど一緒に過ごすので異年齢保育の良さを活かし、一人ひとりに付き添うことで基本的な生活習慣を楽しく身につける環境が整備されている。
⑤ A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・b・c	子どもを中心にした環境づくりがされているが、自由におもちゃ等を取り出せることができないなど、遊びを豊かにする環境づくりを工夫してほしい。
⑥ A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と保育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c	子どもの「好き」を見つけて繰り返し遊べる環境が整備され、発達過程に応じた遊びが工夫されている。
⑦ A-1-(2)-⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と保育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c	一律に同じことをさせるのではなく、やりたいことができる環境を整えていきたいがなかなか工夫が難しく、好きな玩具を選び存分に楽しめる環境づくりができていない。
⑧ A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と保育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c	該当なし
⑨ A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c	現在受け入れはないが、過去の受け入れはあった。職員は研修をしたりして、受け入れに対応する体制はとれている。
⑩ A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c	異年齢の子どもがゆったりと生活できているが、朝夕の時間帯に興味のある遊びを繰り返しできる環境になっていない。
⑪ A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・b・c	該当なし
A-1-(3) 健康管理		

⑫	A-1-(3)-① 子供の健康管理を適切に行っている。	㉓・b・c	身体測定実施、測定曲線の作成、保健だよりの発行また、日々の連絡帳や送迎時に家庭との連携を図り共に子どもの健康管理に努めている。職員間では視診表や申し送り表にて情報共有されている。
⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させている。	a・㉓・c	園で年2回の健康診断、年1回の歯科検診を行うが、ミーティング等での情報共有ができず保育に反映されていない。家庭との連携については、6か月、1歳半、3歳児健診の報告を聞き取り、個人懇談等で共有している。
⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	㉓・b・c	アレルギー疾患の子どもはいないが、卵・小麦・乳製品を使わない給食となっている。その他のアレルギーについては、保護者、園長、栄養士と相談し、除去食又は代替食で対応するようになっている。
A-1-(4) 食事			
⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	㉓・b・c	その子にあった量や食事形態(刻みなど)を提供し、楽しく食べることをねらいに、発達に応じた働きかけがされている。目先をかえてランチョンマットやトレイを使用したり、テーブルの並べ方を工夫したりピクニックシートを使いお弁当箱に入れて遠足気分を味わうなどの取り組みがされている。
⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることができる食事を提供している。	a・㉓・c	グループの栄養士が献立を作成し、自園調理している。旬の食材や地元の食材を使ったメニューが提供されている。

A-2 子育て支援

評価項目	第三者評価結果	判断理由	
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・㉓・c	入園時の面談票を把握している。また、日々の興味や成長について送迎時に会話している。連絡帳を活用して日常的な情報を共有している。
A-2-(2) 保護者等の支援			
⑱	A-2-(1)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	㉓・b・c	園だよりやクラスだより、献立表の配布し園での様子をつたえたり、お迎えの際に1日の様子を伝えている。個人懇談の実施、行事後のアンケート実施、意見箱の設置などご意見ご要望ご相談が発信しやすい環境が整えられている。
⑲	A-2-(1)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・㉓・c	虐待防止マニュアルを作成し、園ミーティング等でチェックリストにつて話し合われている。

A-3 保育の質の向上

評価項目	第三者評価結果	判断理由	
A-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)			
⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・㉓・c	毎月のミーティングや振り返りシートの活用、自己評価記録の実施をし向上に努めているが、具体的な改善事項、改善策については、指導案の評価反省のみで保育実践に十分に反映されていない。